

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度 第4回所沢市文化財保護委員会
開 催 日 時	令和 8年3月27日(金) 午後 2時00分 から 午後 3時15分
開 催 場 所	所沢市役所4階 401会議室
出 席 者 の 氏 名	林 宏一 金井秀人 金澤 光 佐藤孝之 新藤康夫 宮本八恵子
欠 席 者 の 氏 名	羽生修二 田中 信
説明者の職・氏名	
議 題	議事 1 指定文化財の候補案件(山路真護絵画)について(諮問) 2 所沢市文化財保存活用地域計画案について 報告 1 事務局からの各種報告
会 議 資 料	・次第 ・会議資料1 指定文化財諮問物件概要(山路真護絵画作品一覧) ・会議資料2 所沢市文化財保存活用地域計画(案) ・報告資料1 文化財保護課事業報告
担 当 部 課 名	教育長 岩間健一 教育総務部 部 長 池田 淳 文化財保護課 参 事 稲田里織 所 長 古谷芳貴 主 査 鈴木 蘭 主 任 宮内洋英 主 任 濱本恵代 主 任 木村立彦 職 員 矢田和美 教育総務部文化財保護課 電話04(2991)0308

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>1、開会 2、教育長あいさつ 3、文化財保護委員長あいさつ 配布資料の確認後、林委員長が議長となり、議事を進める。 「所沢市情報公開条例」に基づき本会議、会議資料、会議録の公開について諮り、公開とすることを議長が宣言。次に、会議録については要約方式、発言者の委員名は出さず「委員」の表示とすること、会議録の確定は議長（委員長）の承認で行うことを確認した。 傍聴者はなし。</p>
事務局 議長	<p>4、議事 （1）指定文化財の候補案件（山路真護絵画）について（諮問） 《諮問理由について事務局より説明》 ※岩間教育長から林委員長へ諮問書が手渡される 教育長から山路真護の絵画作品についての指定に関する諮問書をいただいた。委員の方々には前回ご審議をいただいている、ほぼ各委員のご同意を得ている。ここでは、前回の会議までに各委員が言い忘れたこと、指摘事項などあれば発言願いたい。絵画作品の内容は油彩画が中心で、作品について概要の一番下の方に記入してあるが、やや変わった画風の画が多い。山路真護はパリから帰ってから前衛画家として活動していた。彼の実績が遺族から寄贈された作品の中に収められている。山路真護の画家としての活動の足跡がこれらの作品を通じて読みとれるという意味では、貴重な作品群となる。しかも所沢出身の前衛画家である。ここにあるように一陽展出品作等、最も活躍したころから晩年の作品までまとまった数が、市の収蔵品になっており大変貴重なものである。指定文化財として承認いただいた場合は、市がこの管理に万全を期するためにかんがりの責務を負うことになる。油彩画は結構脆いので、管理場所によっては絵具が剥がれたり、カビが生えたりすることがある。日頃の管理をきちんとしておかないと絵の劣化が進んでいく。今後の管理を課題として考えながら指定に向けての審議をしていただければと思う。</p>
委員	<p>No. 23 の絵画は、マフラーの原画とあるが衣料品のマフラーの文様の原画と考えればよいか。</p>
事務局	<p>そのように解釈している。</p>
議長	<p>他に意見のある委員の方はいないか。諮問については次回以降の審議会で最終的な審議をし、答申をさせていただく。</p>
事務局	<p>次回の審議会で実査を行う予定のため、その際にまたご意見をいただきたい。</p>
議長	<p>（2）所沢市文化財保存活用地域計画案について 《所沢市文化財保存活用地域計画案について説明》 これまでに何度か審議会でこの内容について、各委員からご検討、</p>

	<p>ご指摘、修正案等いただいているが、何かご意見はあるか。</p>
委員	<p>意見はない。事前に事務局に意見を伝えており、文化庁からの意見を踏まえて事務局から説明を受けて理解した。</p>
議長	<p>保護委員会としては承諾という形でよろしいか。</p>
委員	<p>意見なし</p>
事務局	<p>《当該計画作成に係る今後のスケジュールを説明》</p>
議長	<p>市民への報告はどのように考えているか。</p>
事務局	<p>認定後はホームページで全編見られるよう公開する。庁内も含めて、記者クラブ等も活用し認定を受けたことについて広報したい。</p>
議長	<p>市の広報紙などに載せられないか。</p>
事務局	<p>市の広報紙については調整する。</p>
	<p>5、報告 (1) 事務局からの各種報告 《文化財保護グループから事業報告》</p>
議長	<p>先日旭橋付近を通り、復元電燈がとても良かった。伝統芸能発表会の見学者もかなりの数ではないか。</p>
事務局	<p>今回は、市広報の特集や市民ホールでの展示など、広報に特に力を入れていたので、もう少し見学者の増加を見込んでいた。</p>
議長	<p>伝統芸能で人を集めるのは大変だと思う。</p> <p>《ふるさと研究グループから事業報告》</p>
委員	<p>郷土資料等収蔵施設整備事業だが、所蔵資料の再整理について説明いただきたい。</p>
事務局	<p>今年度行った再整理は、第2文書庫の資料整理に伴う再整理がメインになった。第2文書庫に所蔵している資料を一点ずつ確認し、目録を更新した。</p>
委員	<p>履歴が確認できないものも正直あると思う。札が取れてしまったものは履歴が追えない。そうなると地域性に乏しいものや流通品は、トリアージを行う必要があり、キャパの問題もある。山口民俗資料館では、過去の保存会の方が集められたであろう物が物置の中に埋もれるようにあり、収蔵票は下にバラバラ落ちていたり、埃まみれで置いてある状況。若松小学校に置いている資料も保存状態が良い</p>

	<p>とは言えない。</p>
議 長	<p>今回の報告では、保管場所を変更したということだが、移した場所の環境はどうか。</p>
事務局	<p>第2文書庫は、資料保管場所としては、劣悪な環境であり、それに比べると環境は良い。</p>
議 長	<p>各所に収蔵されている資料について今後どのように管理し、活用していくかを今後真剣に事務局で検討してほしい。地元の方が協力して収集して保管し、守ってこられた物なので、もう一度きちんと考えておく必要があると思う。場所を変えただけでは済まない問題がここには含まれている。検討しておいてほしい。</p> <p>(7)の施設見学ではどのようなことを説明されているのか。小学生が来て、市としてはどういう説明をしているのか。</p>
事務局	<p>民俗資料館の施設見学は、柳瀬及び山口では各保存会の方に説明をしていただいている。中富については、現在は保存会がないが、かつての保存会の会員の方や地域の方にお声かけをして協力をいただいている。地域の方から地域の小学生に民俗資料館にある資料を基に説明していただき、柳瀬のように縄ない等の体験ができる施設では体験学習を実施していただいている。</p> <p>《埋蔵文化財調査センターグループから事業報告》</p>
議 長	<p>埋文まつりの来館者547名はかなりの入りだったのではないか。</p>
事務局	<p>開館時間中常に人がいる状況で、大変好評だった。</p>
委 員	<p>東原遺跡の集石土坑は珍しいのか。特徴があるものは出てきているか。</p>
事務局	<p>屋外で蒸し焼き料理をした土坑で、縄文時代の遺跡には比較的多い。所沢で一番多く出てきている勝坂式から加曽利E式の集落が多いが、東原遺跡は加曽利E式を伴った住居跡。</p>
議 長	<p>埼玉は縄文文化のブランドなので、考古関係で目立ったもの、際立ったものが出ていればと思った。その辺は、今後埋蔵文化財グループで指定候補物件について少しセレクトしておいていただければと思う。</p> <p>6、その他</p> <p>次回、令和8年度第1回会議は4月下旬から5月上旬の開催を予定している。</p>